



『わがまち魅力アップ応援事業』について

上田市では、自治会や市民活動団体の皆さんと、地域の課題の解決や活性化のために、自主的・主体的に取り組む地域づくり活動を補助金によって応援しています。まずは「城南地域をもっと魅力あふれる住み良いまちにしたい」という思いやアイデアを持つ皆さんからの応募によってスタートとなります。応募のあった事業は、城南地域協議会の審査を経て、予算の範囲内で採否が決定されます。審査では事業計画に対するアドバイスや条件を付して、よりよい内容となるよう協議を行っています。



地域協議会の会議〔城南公民館〕

あとがき

初めての「地域協議会だより」を発行することが出来ました。多様な地域資源や様々な課題が見えてきました。皆さんと共に住みよい地域づくりをするために、今後も地域協議会の活動内容をわかりやすくお伝えしていきたいと考えています。

意見募集

地域協議会の活動や地域のことで、ご意見やご要望がありましたら、事務局までお寄せ下さい。市役所まちづくり協働課または城南公民館に「意見箱」を設置しております。任意の用紙に、氏名と自治会、年代を記入の上ご提出ください。(郵送又はFAX可)
(募集期間: 2月16日から3月10日まで)

城南地域協議会についてのお問い合わせは、まちづくり協働課／城南公民館 (☎27-7618 (FAX兼用))まで

上田城南地域協議会だより

平成22年2月16日発行
(第1号)

発行元: 上田城南地域協議会
(事務局) まちづくり協働課
電話 22-4100 内線1352

ごあいさつ

上田市地域協議会が設置され、発足して満4年を迎えようとしています。地域住民の多様なニーズに的確に対応できる体制の構築を目指して設置されました。その目指すものは①合併に対する住民不安の解消②住民と行政との協働による自治意識の高揚③地域の個性とまとまりを進める分権型自治の実現など三つの視点です。私は会長としてその運営に関わってきました。今回「上田城南地域協議会だより」の発刊によせていさかの思いを記します。

新生上田市はその展開に向か、いろいろな課題を抱えています。地域分権が云われ、そこに住む市民1人1人が当事者となって、地域づくりに日常的に関わっていかなければと思います。当地域では19の単位自治会が川辺泉田と城下地区でそれぞれ連合し、更にその二つを結合させて城南地区連合自治会として人口28,000人を超える大居住圏を網羅、形成しています。

この歴史と実績に裏打ちされたフィールドが私共城南地域協議会が活動していくべき原野でもあります。提携しあって、協力しあっていきたいものと心から願っています。広範にわたる地区内には過疎と過密地帯が併存し、国道、県道が東西に走り、千曲川に架かる四つの橋の利用者及び車両の全部を受け入れる交通の要衝として、東信濃の理想都市構想に欠かせない地域です。こうした期待される将来展望は、そこに住む住民の地域力とその参加が欠かせません。住み易いということはそこに住む人々の実感でなければと考えます。その平均的評価に妥協することなく、この地域の特性と個性を基盤とした誇りあるまちづくりを目指すではありませんか。皆さんの関心と実践に向けての参加をお願いして、あいさつといたします。

会長 田中 明

市長へ意見書を提出



H21.3.5

◆ 地域協議会について

地域協議会とは、地域主体の住民自治を目指して合併後に組織された地域の審議会のこと、地域住民等の意見や要望を集約して行政に反映させ、地域の重要事項の決定に意見を述べ、住民と行政の協働を進めながら地域づくりを推進しています。

合併した丸子・真田・武石の3地域のほか、上田地域では公民館単位で6地域にそれぞれ設置されています。上田城南地域協議会のエリア内は、9地域の中で上田中央地域に次ぐ人口(11,224世帯、28,465人: 1/1現在)を有しています。

«これまで提出された上田城南地域協議会からの意見書»

①城南公民館の建替推進(2回) ②泉田保育園の早期新築 ③上田道と川の駅の利活用について

意見書の提出や地域の活動によって、これから始まる城南地域の主な動きをまとめてみました。

- ◆城南公民館の改築事業が動き出します。(H22は基本設計ほか)
- ◆上田道と川の駅の地域振興施設は、この4月にオープンします。(詳しくは2ページをご覧下さい)
- ◆小泉保育園と泉田保育園の統合園の建設が始まります。(詳しくは3ページをご覧下さい)
- ◆旧国道143号の拡幅に向け、上田市北天神町古吉町線道路拡幅促進会が発足し、進み始めます。
- ◆赤坂上交差点の渋滞緩和を目指した迂回路神畠原崎線の建設工事が急ピッチで進んでいます。(暫定的に供用開始となつた区間については2ページをご覧下さい)
- ◆わがまち魅力アップ応援事業によって、これまで7自治会、4市民団体が活動を実施しています。(22年度事業の募集は2月19日までとなっています。詳しくは4ページをご覧下さい)



他の地域協議会で出された意見書

中央地域…①「ふるさと上田先人館」の創設 ②(仮)総合保健センターの植栽について
西部地域…①歴史的遺産の活用 ②トレッキングコース整備 ③公園管理と公園構想

④放課後児童対策 ⑤地域医療について

神科・豊殿地域…①地域医療体制充実 ②公共交通網の整備充実 ③交通量増加の対応について
塩田地域…①ごみ処理施設の学習会 ②地域協議会のあり方 ③自然環境・景観保全
④地域自治センター整備計画 ⑤別所線電車存続について

川西地域…①地域自治センターの早期建設 ②子どもの農山村交流促進事業について
丸子地域…①依田川リバーフロント市民協働事業 ②カネボウ跡地有効活用について

真田地域…①図書館施設の整備について(2回)

武石地域…①広報うえだ「武石版」発行 ②子育て支援施設建設 ③補助制度等統合激変緩和措置について

